



# こくろうよなご

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に



また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

国・県・市町村への要望では、国に関与をお願いしたい・JRと自治体が一緒になつて盛り上げてもらいたい・観光客増の取り組みをお願いしたい・人口増加対策を行つてほしいなど回答がありました。

最後に、その他のご意見として、いいアイデアがあれば聞かせてもらいたい・自治体での取り組みを増やしてもらいたい・駅のバリエフリー化をお願いしたい・都会ばかり人口が増えて田舎は年寄ばかりだ・列車の安定輸送をお願いしたい・バスと鉄道のアクセスを



「社員との関係をもつと深めたい」みたいになるのだろうか。今年の労働協約の回答にもエンゲージを高

褒められるのは悪いことではないと思いつつ、会社に異論をはさみにくい環境にならなければ、心配もあります。

ト調査であつたことから、○木次線のご利用についてでは、ご家族含めて利用している8名・していらない24名となりました。

また、○ご利用目的については、通学3名・買い物3名・観光3名となりました。次に、○駅までの交通手段をお聞きしたところ徒歩6名・自転車2名とな

11月13日に行つた「木次線を守る統一行動」では、沿線住民の方へのアンケートとして、木次線のご利用状況やJR・国・自治体などへの要望、木次線を取り巻く現状への思いなどをお聞きせ頂きました。

ご家庭やお店への飛び込みにより、32名の方から回答を頂きました。以下、アンケートの回答について紹介します。

また、危惧される本次線の存続について  
は、廃線されると町の活気が無くなりそうな  
気がする・存続してほしい・普通利用出来る  
ようにしてほしい・学生の為にも存続させて  
ほしいなど、廃線の危機感がひしひしと伝わ  
る一方で、本次線の必要性を感じないという  
意見もありました。

**町の衰退を危惧！**

他の交通機関とのアクセスを改善するなど回答がありました。

## 住民アンケート結果より

**でなく!**

## 細田組合員の「只見線に乗ってきました」PART②

車両は110系(東日本の  
代表的なローカル線気動車)  
2両のワンマン列車です。  
外はあいにくの雨模様でし  
たが、発車場面でほぼ満席  
でした。小出駅から途中の  
只見駅間は地元の高校生の  
(録音)放送で沿線の見どころ  
とか観光地の紹介があり  
ました。



小出駅から会津若松駅まで4時間以上乗車しましたが、(16時過ぎには真っ暗になりましたが)紅葉と只見川沿いの景色、楽しい観光ガイド、そして、おいしいお酒も楽しみながら、あつという間に会津若松駅に到着しました。その日は会津若松市内で泊り、次の日は会津鉄道・野岩鉄道(こちらも秘境鉄道)を乗り継ぎ、鬼怒川温泉駅から東武鉄道の特急で東京(浅草)まで帰りました。2日間見どころ満載の秘境鉄道の旅でした。

皆さんも機会があれば、是非行ってみてください。

# ハンドル? なんだ?

A photograph showing two bottles of beer on a windowsill. The bottle on the left is dark brown with a white label featuring a crest or logo. The bottle on the right is green with a white label that includes the word "IPA". To the right of the bottles is an empty glass. The window looks out onto a landscape with trees and a cloudy sky.